

第25 粉末消火薬剤に係る係数を定めるための試験方法

(平成3年6月19日消防危第71号)

1 粉末消火薬剤に係る係数を定めるための試験方法

(1) 器材は次のものを用いる。

ア 1メートル×1メートル×0.1メートルの鉄製の燃焼槽

イ 噴射ヘッド1個（オーバーヘッド用で放出角度90度のフルコーン型。等価噴口面積は、流量の0.7の値を目途として、ヘッドの吐出圧力と圧力容器で調整する。）

ウ 消火剤容器体積20リットル以上（消火剤の種別により定める。）

エ 消火剤重量 12 ± 1 キログラム（消火剤の種別により定める。）

(2) 試験方法

ア 上記(1)アの燃焼槽に対象危険物を深さ3センチメートルとなるように入れて点火する。

イ 点火1分後に図3-25-1の噴射ヘッドから表3-25-1に示す標準放出量 Q_s 、(kg/秒)の消火剤を放出圧力（ノズル圧力） 98 ± 19.6 キロパスカルで、30秒間放出する。

ウ 消火しない場合は、ア及びイの操作を放出量を増して行い、消火するまで繰り返して、消火した時の放出量を記録する。

エ アからウまでの操作を3回以上繰り返し、その平均放出量 Q (kg/秒)を求める。

(3) 係数の求め方

当該危険物の係数 K は、次の式により求める。

$$K = Q / Q_s$$

K は、小数点以下第2位を四捨五入し、0.2刻みとして切り上げる。

計算例：第1種粉末消火薬剤の場合の平均放出量が0.25キログラム毎秒の場合

$$K = 0.25 / 0.2 = 1.25 \div 1.3 - 1.4 \text{ となる。}$$

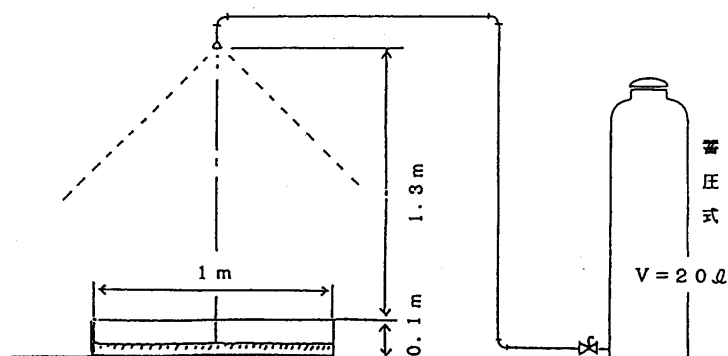


図3-25-1 消火試験器材配置図

表 3－25－1 粉末消火薬剤の種別と標準放出量

消火薬剤の種別	標準放出量 (kg／秒)
第 1 種粉末	0.20
第 2 種粉末又は第 3 種粉末	0.12
第 4 種粉末	0.08